

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	551 おちばの里親水公園管理事業					
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-④子どもを健やかに育てる				担当課	社会教育課
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項 社会教育費
	目	生涯学習費		02	目 生涯学習費		
	予算事業名	基本事業 (事業1)	生涯学習推進費		細事業名 (事業2)	おちばの里親水公園管理事業	
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	全市民	
事業期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	-			
事業の目的	自然体験、親子ふれあい、仲間との交流を提供することにより、人づくり・仲間作りを推進する。						
事業の概要	自然豊かな「おちばの里親水公園」を生涯学習の場として維持管理する。						

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	知波田地区に平成16年11月に開園した「おちばの里親水公園」の公園内の清掃及び除草・ごみの処理・トイレの清掃を行った。 利用申請受付数 6,907人							
課題	飲料水の確保が難しい。							
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	事業費 (A)	当初予算額	1,276	千円	1,282	千円	1,943	千円
		決算 (見込) 額	1,548	千円	1,129	千円		千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0	千円
		一般財源	1,548	千円	1,129	千円	1,943	千円
	人件費 (B)	1,307	千円	1,292	千円	1,240	千円	
	人工 (職員数の内訳)	0.18	人	0.18	人	0.17	人	
トータルコスト (A) + (B)	2,855	千円	2,421	千円	3,183	千円		
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	公園利用者数(申請分)	人	目標	4,500	5,100	6,900		
			実績	5,038	6,907			
		達成度	112.0%	135.4%				

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 生涯学習の場とし、管理していく必要がある	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	管理方法を検討する

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	554 放課後子ども教室推進事業									
総合計画	めざまちの姿	1	人が育つまち				担当部	教育委員会事務局			
	基本計画【施策】	1-④子どもを健やかに育てる				担当課	社会教育課				
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項	社会教育費	02	目	生涯学習費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	生涯学習推進費			細事業名 (事業2)	放課後子ども教室推進事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民		全小学生			
事業期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	-							
事業の目的	学校・家庭・地域が連携協力し、子どもたちを健やかに育てるために、社会全体の教育力の向上を図る。										
事業の概要	放課後に学校の教室を利用し、地域の参画を得て子どもたちに学習・スポーツ・文化活動・体験活動の場を提供し、安心安全な放課後教室を開催する。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	放課後子どもプラン推進事業運営委員会において、放課後子ども教室の計画と運営について協議し、市内6校の小学校で実施した。
課題	スタッフの確保が必要。参加者の増加につながる募集の方法を検討する必要がある。活動がマンネリ化しないよう内容の工夫が必要である。

		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
コスト	事業費 (A)	当初予算額	3,867	千円	3,706	千円	3,500	千円
		決算 (見込) 額	2,501	千円	3,013	千円		千円
	財源内訳	※国・県補助金など 特定財源	1,541	千円	1,589	千円	2,522	千円
		一般財源	960	千円	1,424	千円	978	千円
	人件費 (B)	2,357	千円	2,331	千円	2,199	千円	
	人工 (職員数の内訳)	0.32	人	0.32	人	0.30	人	
トータルコスト (A) + (B)		4,858	千円	5,344	千円	5,699	千円	
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	放課後子ども教室申込者数		人	目標	240	230	230	
				実績	207	195		
		達成度	86.3%	84.8%				

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 国の施策であり、放課後の子どもたちの居場所作りや学校・家庭・地域との連携を図るためには必要	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	国の施策であり、放課後の子どもたちの居場所作りには必要であるが、内容等の検討。参加者負担の検討。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	564 青少年健全育成事業					
総合計画	めざまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-④子どもを健やかに育てる				担当課	社会教育課
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項 社会教育費
	04	目	青少年育成費				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民	
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-		
事業の目的	青少年の健全育成を目指す						
事業の概要	青少年の健全育成のため、 ・青少年問題協議会の開催 ・健全育成大会の開催 ・育成表彰の実施 ・「家庭の日」の普及 ・子ども会、湖西少年少女発明クラブ等の各種青少年育成団体に対し、活動の支援 ・明るい地域づくりと青少年健全育成活動を実践する明湖会への補助						

2. 事業の実績(Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 青少年問題協議会の開催 委員22名、任期2年、年間1回青少年センター運営委員会と同時開催した 健全育成大会の開催 健全育成表彰、小中高校生による「少年の主張」、「家族の詩」の朗読等を実施した。 参加者 570人 健全育成表彰の実施 個人26人、19団体の表彰を行った。 「家庭の日」の普及 応募数 絵画 323点、標語 247点、詩 370点 入賞作品を展示・公開した。優秀作品を掲載した啓発物を作成し、配布し、啓発を図った。 子ども会連合会、ボーイスカウト湖西協議会、湖西フロンティア倶楽部、明湖会の活動に対し補助をした。 							
課題								
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	事業費(A)	当初予算額	5,888	千円	4,983	千円	4,956 千円	
		決算(見込)額	5,239	千円	4,565	千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	84	千円	76	千円	76 千円	
		一般財源	5,155	千円	4,489	千円	4,880 千円	
	人件費 (B)		7,799	千円	7,247	千円	5,558 千円	
	人工(職員数の内訳)		1.05	人	1.00	人	0.77 人	
トータルコスト(A)+(B)		13,038	千円	11,812	千円	10,514 千円		
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	「家庭の日」作品応募数(総数)	点	目標	1,000	1,000	1,000		
			実績	820	940	千円		
達成度			82.0%	94.0%				

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	青少年の健全育成を図るためには必要。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	普及啓発方法など事業内容等の見直しをする。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	569 青少年教育推進事業					
総合計画	めざまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-④子どもを健やかに育てる				担当課	社会教育課
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項 社会教育費
	目	生涯学習費		02	目 生涯学習費		
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	全市民	
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-		
事業の目的	体験イベントを通して学習の大切さや自然のしくみ、人と人とのふれあいを深めることにより、青少年の社会性と道徳心を育成する。						
事業の概要	子どもたちの実体験や親子、子ども間の交流を通して青少年の健全育成を図るため、青少年の科学体験、親子体験教室、子どもフェスタ、ものづくり体験事業等を開催する。						

2. 事業の実績(Do)

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の科学体験事業 青少年に科学体験を通して、物づくりの楽しさ、創意工夫の大切さを学ぶ機会を提供した。 16ブース設置 775人参加 ・親子体験教室 自然と親しみながら親子のふれあいを深めるため、「浜名湖を知ろう」「森を知ろう」などを7回実施した。 参加者 1,072人 ・子どもフェスタ アメニティプラザのメインアリーナで、9種類のレクリエーション種目の実施を通して、地域・世代を超えた交流を深めた。 参加者 770人 ・ものづくり体験 ものづくりを通して考える力・工夫をする力を養い想像力豊かな子どもたちを育成した。 501人
課題	類似事業との合同開催による参加者の分散を解消する。

コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	事業費(A)	当初予算額		1,770	千円	5,711	千円	2,641
決算(見込)額			1,506	千円	2,780	千円		千円
財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など		0	千円	2,779	千円	1,320	千円
	一般財源		1,506	千円	1	千円	1,321	千円
人件費(B)			2,828	千円	3,264	千円	3,079	千円
人工(職員数の内訳)			0.38	人	0.45	人	0.42	人
トータルコスト(A)+(B)			4,334	千円	6,044	千円	5,720	千円
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	イベント参加者数	人	目標	2,000	2,000	3,200		
			実績	1,691	3,118			
		達成度	84.6%	155.9%				

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	青少年に多くの体験やふれあい、学ぶ機会を提供し、子どもたちの社会性の育成を図るためには必要。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容(課題に対する改善等)	参加人数をあげるよう内容や運営方法を検討する

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	572 青少年育成センター活動事業					
総合計画	めざすまちの姿	1	人が育つまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	1-④子どもを健やかに育てる				担当課	社会教育課
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項 社会教育費
	04	目	青少年育成費				
	予算事業名	基本事業 (事業1)	青少年育成センター活動費		細事業名 (事業2)	青少年育成センター活動事業	
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民	
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-		
事業の目的	街頭補導活動、相談活動を行うことにより、青少年非行を防止する。						
事業の概要	青少年補導員による補導活動や社会教育指導員による相談活動、青少年環境の浄化など関係機関と連絡調整を図り、青少年健全育成活動を行う。						

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	街頭補導活動では、青少年補導員46人を委嘱し、青少年の非行防止のため市内各地区ごとで街頭補導を実施した。 延べ559人参加 ヤングダイコさい（相談窓口）を市民会館・西部公民館に開設し、青少年の電話相談を行った。							
課題	地区補導員のバランスのとれた配置。 電話相談活用のための周知。							
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	事業費 (A)	当初予算額	1,320	千円	1,297	千円	1,254	千円
		決算（見込）額	1,088	千円	1,051	千円		千円
	財源内訳	※国・県補助金など 特定財源	0	千円	0	千円	0	千円
		一般財源	1,088	千円	1,051	千円	1,254	千円
	人件費 (B)	2,357	千円	1,399	千円	2,479	千円	
	人工（職員数の内訳）	0.32	人	0.19	人	0.34	人	
トータルコスト (A) + (B)	3,445	千円	2,450	千円	3,733	千円		
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	補導実施回数	回	目標	140	140			
			実績	114	114			
		達成度	81.4%	81.4%				

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 青少年非行を防止のため、街頭補導活動が重要になるため必要	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	継続
今後の取組内容 (課題に対する改善等)	相談窓口の広報など検討が必要。